

私のすすめるこの1冊

亀田 直記（理学科 講師）

『磁極反転の日』

伊与原新（著）

ニュース等で、「後 1 年ほどで地磁気がゼロになる」と聞いたら、あなたはどうしますか。特に何もしなくても放っておけば誰かが解決してくれると思う人、巷で言われていることがどれも気になって自分の結論を出せない人、テレビからの情報以外にも Web 検索などさまざまな手段を駆使して情報を手に入れて解を出す人、科学的な知識に基づいて自身で判断を下す人など、いろんなパターンがありそうです。

今では過去のことになりつつあるコロナ禍を思い出してみてください。その時と同じような判断の仕方をしそうではないでしょうか。先の見通しの立たないことに関して、“専門家”と言われる人の見解も様々でしたし、どこが情報源かわからない内容のものまで、多く駆け巡ったことに振り回されてしまったかもしれません。しかし、パンデミック自体は過去に何回も起こっています。専門家でなくとも、自身で科学的な判断をするための情報（経験）はあるのです。

冒頭の地磁気については、南北が反転すること（今の北が南になる）は、今から約 77 万年前に実際に起こったことがわかっています。反転した証拠が見られる千葉県 の地層が「チバニアン」として、国際的に認定されました。過去に起こったと言っても、人類は誰も経験していないため、どのようなことが起こりうるかは科学的に推測するしかなさそうです。推測のための材料としては、地磁気に関係するものを思い

浮かべれば、オーロラや磁気嵐といった宇宙関連、渡り鳥が飛ぶ方向を決めるのに使うといった生物への影響など、どこかで見聞きしたかと思います。

紹介した本は、地磁気の状態を伝える「宇宙天気日報」というニュースから始まる SF 小説です。主人公の記者が、科学者に取材を行い真実に迫ろうとする様子や、あふれる情報に惑わされる人たちとの関わりが描写されています。初出は 2014 年ですが、コロナ禍を経た今から見ると、まるでそれを予想していたかのように、迫りくる地磁気ゼロの日に向けて右往左往する人々が線につながって話が展開します。

なぜコロナ禍と重ねられるかというと、著者は元々大学に勤務していた地球惑星科学の研究者であり、物語の中に科学的な背景に基づいた真正性があるからです。例えば、東京でオーロラが見える描写がありますが、江戸時代に京都で見られた記録や、近年でも北海道では見られます。信ぴょう性があるため、人々が感う様子にリアリティがあるのです。

この著者の作品は他にも「八月の銀の雪」、「月まで三キロ」が本学附属図書館にあります。確かな科学の目で描かれた世界に没頭できます。自身に科学の視点があるかを確認するのはもちろん、指導者として正しい判断ができる子どもたちを育てるためにどうすればよいのかということを考えさせられるかもしれません。



「学修支援員ってどんな人？ゆるっと雑談会」を開催しました！

6月17日(月)13:30~14:30に、学修支援員と気軽におしゃべりできるイベントを開催し、今年度の学修支援員3名が、来てくれた学生さんたちに飲み物やお菓子をおすすめしながら、学校生活のことなどについておしゃべりしました！



大学院への進学を考えて...



2回生なんですけど、教採の勉強っていつから始めたらいいですか？

次回イベント予告！

7月22日(月)13:30~14:30に「レポート相談会」開催予定！
ラーニング・commonsにて。申込不要、出入り自由です。

今年度の支援員はこの3名です。

得意分野以外にも、教育実習や教採、勉強のことなどなんでも気軽に相談してください！普段はお昼休みにラーニング・commonsにいます。スケジュールや支援員の詳細などはぜひHPをチェック！

得意分野は・・・
「スポーツ心理学」
です！



得意分野は・・・
「数学/STEAM教育」
です！



得意分野は・・・
「社会科教育/スポーツ科学」
です！



学修相談カウンター実施中

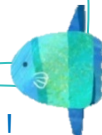
授業や教採のことなど、先輩に相談してみませんか？
【対面相談】7月は原則として月・火・木の昼休み、2階のラーニングcommonsにて。予約不要。
【Web相談】Googleフォームいつでも気軽に相談できます。
※大学 Google アカウントでログインが必要です。



Web相談フォーム

日本教育新聞電子版の閲覧ができます

日本教育新聞「記事検索データベース」サービス終了に伴い、日本教育新聞契約者のみ利用できます。毎日更新されるニュースや、日本教育新聞に掲載された過去20年分の記事を閲覧することができます。
※利用方法は図書館HPをご確認ください。



リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！リクエストや投票にどんどん参加してください！

投票期間：6月3日(月)~7月20日(土)

※結果によっては購入できないこともあります。
※学習研究目的のものは原則として購入しています。

新着電子BOOKのポスターを展示しています

新しく購入した電子書籍のポスターを、「新着図書コーナー」の横に展示しています。各ポスターの下側にあるQRコードは切り離し可能ですので、読みたい本/興味がある本があれば切り取ってお持ち帰りください。

なお、学外から電子書籍を利用する際は「学認でサインイン」を選択し、学内アカウントのID・パスワードを入力してください。



中庭コンサート(報告)

6月6日(木)13:10から附属図書館の中庭で、器楽基礎演習の受講生によるミニコンサートが開催されました。トーンチャイム、ハンドベル、リコーダーや手持ち木琴の合奏など、美しい音色が響き渡りました。



京都教育大学
それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

第42回のお知らせ

7月中旬YouTube公開予定

※今までの回も
視聴できますので、
ぜひご覧ください



【講師】鈴木英太(総合教育臨床センター講師)

【テーマ】知って得する学習科学

<概要> 私たちの誰もが「学習する」という経験を積んでいます。一方で、逆に「教える」という立場になったときに、これまでの自分の学習経験はどのくらい役に立つのでしょうか。あなたの人生は唯一無二であり、あなただけのものであると同様に、あなたの学習経験はあなただけのものであり万人と同じではありません。学習科学とは人間が学習する過程を科学的に検証し、よりよく学ぶ・教えるための示唆を与えるものです。

本講座では、「知識があることが、逆に教えることの妨げになるのか?」という教師として気になるトピックと、「いかにして知識は獲得されるのか?」という、現場で役立つ問いについて考えていきます。動画視聴後に学ぶ楽しさを実感して頂ければ幸いです。

主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援:京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

職場体験(報告)

京都市立深草中学校 2年生がチャレンジ体験で6月4日(火)から6月6日(木)の3日間、図書館資料の装備や、カウンターでの貸出・返却などの仕事を体験しました。初日からしっかり仕事に取組み、最終日には慣れた様子でとても頼もしかったです。

日曜開館を実施します

日曜日(7月28日、8月4日)の10時から17時まで開館します。試験勉強などにぜひ!

メッセージボードを設置しています!

イベントのお知らせやメッセージなど、つぶやいています。



夏季休暇に伴う長期貸出について

学部生:7月24日(水)~9月20日(金)
院生・教職員:7月10日(水)~9月9日(月)
【返却期限日】10月8日(火)
※卒業・修了予定者は9月10日(火)まで

児童書コーナー (南館1階)

幼児教育科主催
えほんのもり



今月の絵本カード(学生作)
『にじいろのさかな』
作・絵:マーカス・フィスター
訳:谷川俊太郎
出版社:講談社出版社

※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

eBook 全文試し読み実施中!

【実施期間】6月21日(金)~8月20日(火) ※2ヶ月
紀伊國屋提供プラットフォーム、KinoDenにおける eBook (電子書籍)全文試し読みを実施します!

普段は目次程度しか読めない試し読みが、期間中は1冊につき5分間読み放題!!

また、気になった eBook をリクエストすると、図書館で購入して時間を気にせず読めるようになるかもしれません。

(リクエストされた eBook は利用統計や選書方針を元に購入可否を決定します)この機会に是非、eBook の試読&リクエストをご利用ください!



まずはアクセス!



附属図書館開館時間の変更について

附属図書館では、令和6年度授業期の平日の閉館時刻、土曜日の開館時刻を変更し、開館時間の短縮を試行します。変更後の開館時間は以下のとおりです。

ご理解のほどよろしくお願いたします。

		変更前	変更後
授業期	平日	9時~21時	9時~20時
	土曜	9時~17時	10時~17時
休業期	平日	9時~17時	9時~17時
	土曜	休館	休館

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【7月の開館日時】

1日(月)、8日(月)、22日(月)、29日(月)
14:00~17:00

教育資料館 まなびの森ミュージアム
https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **齊藤 恵太** (社会科学科 准教授)

近世バルト海東部における二つのヴァーサ家の抗争 -スウェーデンとポーランド=リトアニアの合同と対立-

齊藤 恵太

京都教育大学紀要 2024, No.144, pp. 87-107
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9868>



北の地中海ともいえるバルト海は、日本人にはあまり馴染みのない海かもしれません。スカンディナヴィア半島とヨーロッパ大陸部に挟まれたこの海域の歴史について、何が思い浮かぶでしょうか。世界史を学んだ人なら、1991年にソ連から独立したエストニア、ラトヴィア、リトアニアのバルト三国、あるいは日本史の学習者でも、日露戦争と関連してバルチック艦隊という言葉聞いたことがあるかもしれません。これはもともと「バルト海艦隊」という意味です。

本稿が焦点を合わせたのは、それらよりもさらに昔、近世と呼ばれる時代です。16～17世紀前半にかけて、バルト海東部のスカンディナヴィア半島側では、スウェーデン王国が新興国として成長しつつありました。その領域には現在のフィンランドも含まれます。他方で大陸側では、ポーランド王国とリトアニア大公国が合同し、領土の広さだけならヨーロッパでも随一の大国となりました。さらに16世紀末には、スウェーデンとポーランド=リトアニアがそれぞれの国制を維持しつつも同一の君主を戴くこととなります。近世には一般的だった、同君連合と呼ばれる政体です。

本稿は、これらの国々がどのように合同し、また分裂したのかを明らかにすることで、近世における国家のありように迫ろうとする試みです。そこからは、私たちに馴染みのある近代国家とはだいぶ異なる国家像が浮かび上がるはずです。また、近世のバルト海東部からは、緊迫した現在のヨーロッパ情勢を理解するための歴史的な足がかりがえられるかもしれません。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 144号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/> に掲載されています。

開館日程

□9:00-20:00 ■9:00-17:00 ■10:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2024年7月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

7/3 館内整理日

7/27 大学院入試(学外者利用不可)

2024年8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

7/31-8/6 前期末試験

8/7-9/30 夏季休業

8/15-8/16 夏季一斉休業

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>
(QRコード→)



京教図書館 News No.286 (2024年7月号)

発行日:2024年7月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp